Creative Enzymes®

L-テアニン

Cat. No. EXTZ-327

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	自然界におけるL-テアニンは、茶の植物にのみ存在し、茶葉の乾燥重量の1%から2%を占めています。自由な形で存在し、茶の主要なアミノ酸であり、すべての自由アミノ酸の約50%を占めています。テアニンは人間の体にとって不可欠ですが、体内で合成することができず、外部から供給される必要があります。 人々はお茶を飲むことで感情がリラックスできると思っていますが、実際にはお茶に含まれるテアニンがその役割を果たしています。テアニンはお茶に風味を与えるだけでなく、□著なリラクゼーション効果も持っています。今日の社会では、誰もがさまざまな精神的ストレスに悩まされており、テアニンは人々をリラックスさせることができます。
用途	L-テアニンは、飲料、ビスケット、菓子、アイスクリーム、粉砂糖などの製品に食品添加物として使用されています。

製品情報

外□	白色結晶粉末
CAS登□番号	3081-61-6
分子式	C7H14N2O3
純度	98.0-102.0%
機能	血□の低下：血□の調整は主にカテコールアミンと5-ヒドロキシトリプタミンに依存しており、L-テアニンは5-ヒドロキシトリプタミンのレベルを低下させることができます。 鎮静効果：ご存知の通り、茶には興奮作用のあるカフェインが含まれていますが、茶を飲むと人々はリラックスし、□やかで落ち着いた心の状態を感じます。気分の興奮は落ち着く傾向があり、これは主にL-テアニンの役割であることが証明されています。 学習能力の向上：L-テアニンはドーパミンや5-ヒドロキシトリプトファンなどの神□伝達物質の放出や減少に大きく影響を与えることができます。これらの神□伝達物質は記憶や学習能力に密接に関連しているため、L-テアニンが記憶や学習能力に与える影響を調べることができます。 リラクゼーション機能：一般的に、動物や人間の脳の表層では弱い脳波が生成され、周波数に□じてアルファ波、ベータ波、デルタ波、シータ波の4種類に分類されます。これらはそれぞれ個人の精神状態に関連しており、アルファ波はリラクゼーションに関連しています。いくつかの実験では、L-テアニンを吸収してから40分後に脳の表面で明らかなアルファ脳波が□出されることが示されており、これはL-テアニンがアルファ脳波の生成を促進し、人々をリラックスした状態に導くことを示唆しています。

使用法とパッケージング

包装	25KG/ドラムの中に食品が入った二重のプラスチック袋

保管・発送情報

保存方法	涼しく、通気性があり、乾燥した場所に保管し、直射日光を避けてください。